

GUITAR AMPLIFIER
VX SERIES
10

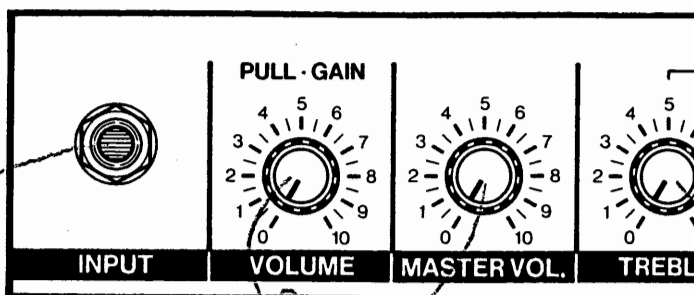
取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、YAMAHA ギターアンプVX10をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

VX10はファッションブルなデザインに加え、クリアでセンシティブにサウンドを再現します。しかも3バンドイコライザー、さらにブースト効果のためのブルゲイン、ヘッドホンジャックなど豊富な機能も装備しています。

VX10があなたのミュージックライフの中で常に活躍できるよう、この取扱説明書をよくお読みいただき末長くご愛用くださるようお願いいたします。



① INPUT

ギターを接続します。

② PULL-GAIN VOLUME ③ MASTER VOLUME

この2つのつまみで音量とディストーションのコントロールをします。VOLUMEつまみを“10”側(時計方向)に回すほど音量が上がり、ディストーションのかかり方もハードになります。

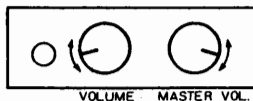
ディストーションの状態や音色をほとんど変えずに音量のみをコントロールしたい場合には、

MASTER VOLUME
を使用します。

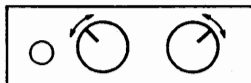
セッティングのめやす
ノーマル

また、VOLUMEつまみを手前に引くとINPUT信号を全域にわたって+12dB(約4倍)増強するため、さらにハードなディストーション効果が得られます。

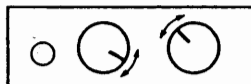
※VOLUME、MASTER VOLUMEのどちらかが“0”の状態では音は出ません。

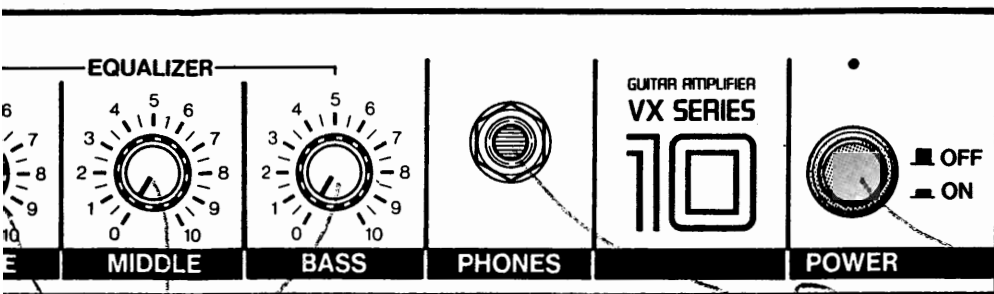


ソフトディストーション



ハードディストーション





EQUALIZER

① TREBLE

高域をコントロールするつまみです。

つまみが「5」の状態ではノーマルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど高域がブーストされ、シャープなサウンドになります。またつまみを「0」側(反時計方向)に回すほど高域がカットされて、マイルドなサウンドになります。

② MIDDLE

中域をコントロールするつまみです。

つまみが「5」の状態ではノーマルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど中域がブーストされ、豊かでメリハリのあるサウンドになります。またつまみを「0」側(反時計方向)に回すほど中域がカットされて繊細で控えめなサウンドになります。

③ BASS

低域をコントロールするつまみです。

つまみが「5」の状態ではノーマルなサウンドが得られ、「10」側(時計方向)に回すほど低域がブーストされ、ヘビーなサウンドになります。またつまみを「0」側(反時計方向)に回すほど低域がカットされて、タイトなサウンドになります。

※EQUALIZERつまみすべてが「0」の状態では音は出ません。

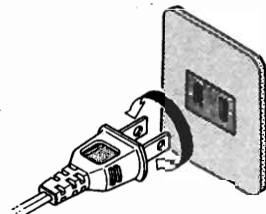
④ PHONES

ライブステージなどで自分の音がわからないときのチューニングや、夜など大きな音を出せないときはヘッドホンを接続してプレイしてください。

※ヘッドホンを使用するとスピーカーから音は出なくなります。

⑤ POWER

電源スイッチです。ON「■」にすると電源が入り、上のパイロットランプが点灯します。ハム・雑音が大きい場合は、スイッチをOFF「■」にしてから電源プラグを反対に差し換えてください。



ご注意

- 電気ギターとアンプを接続するときは、必ずギター側を先に接続し、次にアンプ側を接続してください。逆に接続しますと、スピーカーをいためる場合があります。
- 接続コードの脱着時や、電源のON/OFF時には、必ずアンプのMASTER VOLUMEを反時計方向にまわし、音量を絞ってください。
- 電源は必ずAC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続してください。
- 物をぶつけたり、落としたりの乱暴な取り扱いや、製品に悪い影響を与え、性能を劣化させますので、ていねいにお取り扱いください。
- 安全のため、落雷のおそれのあるときは、コンセントから電源プラグを抜きとってください。
- 雑音の原因となるネオンや蛍光灯からは十分に離して使用してください。



これは電子機械工業
会「音のエチケット」
キャンペーンのレン
ガルマークです。

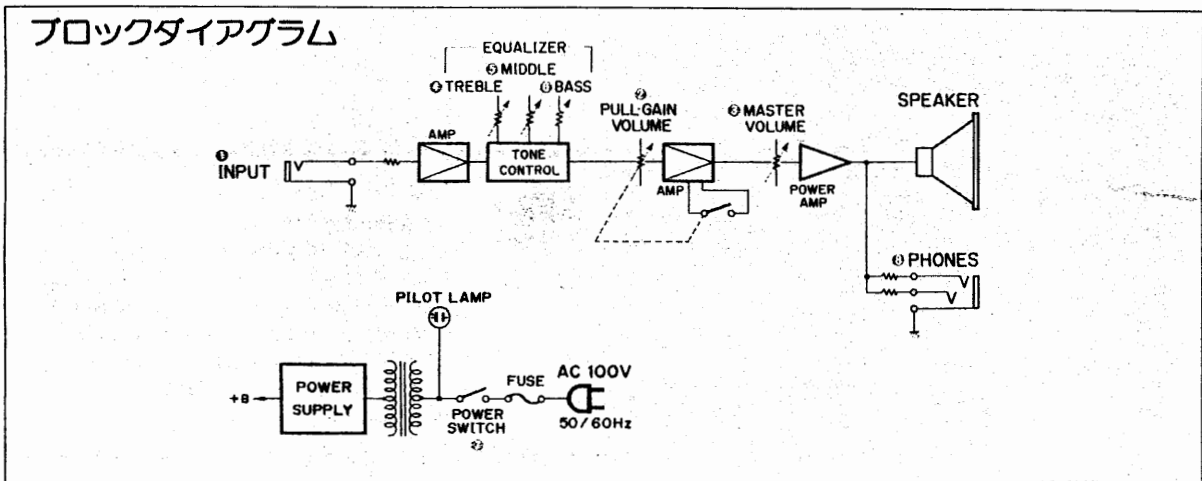
音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

仕様

定格出力	10Wrms (8Ω、T.H.D.10%)
スピーカー	YAMAHA JA2153(20cm)×1
入力端子	HIGH GAIN×1
入力感度(1kHz)	NORMAL -48dB (3mV)
VOLUME } MAS.VOL. } max. EQ.VOL. }	PULL-GAIN -60dB (0.8mV)
ノイズ	-20dB(PULL-GAIN、VOLUME→max、MAS.VOL.→max) -30dB(NORMAL、VOLUME→max、MAS.VOL.→max) -60dB(NORMAL、VOLUME→max、MAS.VOL.→min)
コントロール	PULL-GAIN/VOLUME、MAS.VOL、TREBLE、MIDDLE、BASS、POWER SWITCH
ヘッドホンジャック	-8dB (0.3V) @10W(インピーダンス8Ω)
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	15W
寸法	361(W)×328(H)×165(D)mm
重量	5.3kg

*仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。



サービスのご依頼について

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。) また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう!

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまに、ご購入の日から向う1ヶ年間の無償サービスをお約束申しあげるものですが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種判別や、サービス依頼店の確認など便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂く場合もあります。又お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは日本楽器電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引き続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1ヶ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は最低8年となっています。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●電気音響製品サービス拠点

(お客様ご相談窓口) (お預り修理窓口)

東京電音サービスセンター	0344(434)3100	〒211 川崎市中原区本町1184
新潟電音サービスステーション	0252(43)4321	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーホールビル2F
大塚電音サービスセンター	026(877)5262	〒545 秋田市東戸塚下1-16 千重丘センター内
四国電音サービスステーション	0878(51)7777	(22)3045 〒760 高松市丸島町8-7 日本楽器高松店內
名古屋電音サービスセンター	052(652)2230	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター
九州電音サービスセンター	092(472)2134	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
北海道電音サービスセンター	011(781)3621	〒965 札幌市東区本町1番9-3
仙台電音サービスセンター	0222(36)8040	〒983 仙台市青葉区5-7 仙台国際共同配送センター3F
広島電音サービスセンター	082(874)3787	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-23
浜松電音サービスセンター	0534(56)8611	〒432 浜松市東伊豆2-13-12

(本社)

電音サービス部 0534(65)1150 〒430 浜松市上区町911

住所及び電話番号は変更になる場合があります。

日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中区町10-1
TEL. 0534(65)1111



BWgb, BL, GG, B ㊞